

進めています！安定供給システム販売！

～森林と地域を活力あるものに～



国有林材の「安定供給システム販売」についてご紹介します。

林野庁

国有林材のシステム販売とは

「国有林材の安定供給システム販売」（以下「システム販売」）とは、需要開発が必要な間伐材等の低質材について、国が製材工場や合板工場等と協定を締結し、それに基づいて国有林の木材（立木や丸太）を安定的・計画的に供給する販売方法です。

システム販売の協定の主な相手方は、製材工場や合板工場（丸太販売の場合）、素材生産業者（立木販売の場合）などですが、チップ工場等が製材に不向きな小径木等を購入することや、製材工場等が他の工場と共同して購入することも可能です。



システム販売の目的

国有林では、地球温暖化防止対策として間伐等の森林整備を推進していますが、若い林分から生産される曲がりや節の多い低質な間伐材を有効に利用していくことが重要な課題となっていました。

一方で、このような間伐材を市場で細かく選別して販売することは手間やコストが掛増しになり、また、合板・集成材工場等の低質材を大量に利用する需要者にとっても、少量・不安定な取引による調達には不便なものとなっていました。

システム販売は、こうした問題を踏まえ、国有林が間伐材等を大量かつ安定的に需要者に直接供給する仕組みをつくるとともに、需要者における加工・流通の合理化を促し、また、流通の簡素化、中間コストの縮減を図ること等により、これまで利用が進まなかった間伐材等の需要を開拓するものです。



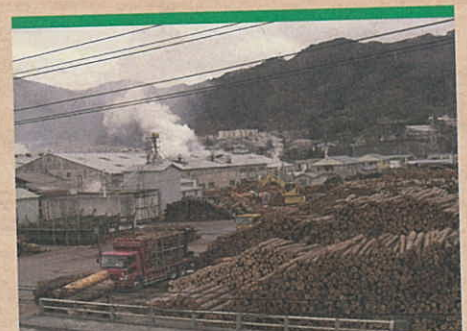
森林整備の推進

地球温暖化防止対策として、
間伐等の森林整備を推進

利用が低位な間伐材を、
コストをかけずに需要者へ
供給することが課題



「直送、大量、安定」
で供給するシステム
販売を展開



間伐材等の需要拡大

大量かつ安定的な供給により、
間伐材等の需要を拡大

システム販売の手続き

システム販売は、需要者と安定供給協定を締結し、需要者に直接供給する販売方法です。協定の締結に当たっては、供給量等を公告して需要者を募った上で、需要者からの提案を審査して選考する企画競争方式をとっています。

審査の中で重視するのは、加工・流通コスト低減の取組や国産材利用推進の取組、新しい製品・利用法開発の取組などの提案であり、国産材の新たな需要開発や用途の広がりにつながるよう努めています。

公告

森林管理局長が、毎年度、販売数量や樹種、規格など、システム販売の条件等を公告し、需要者を募ります。

申請

需要者は、企画提案とともに申請書を提出します。複数の工場等が共同して申請することも可能です。

審査、協定の締結

申請内容の審査を経て、森林管理局長と需要者は安定供給に関する協定を締結します。

販売の実施

森林管理署長は、システム販売協定に従い、需要者へ丸太等を販売します。

審査のポイント

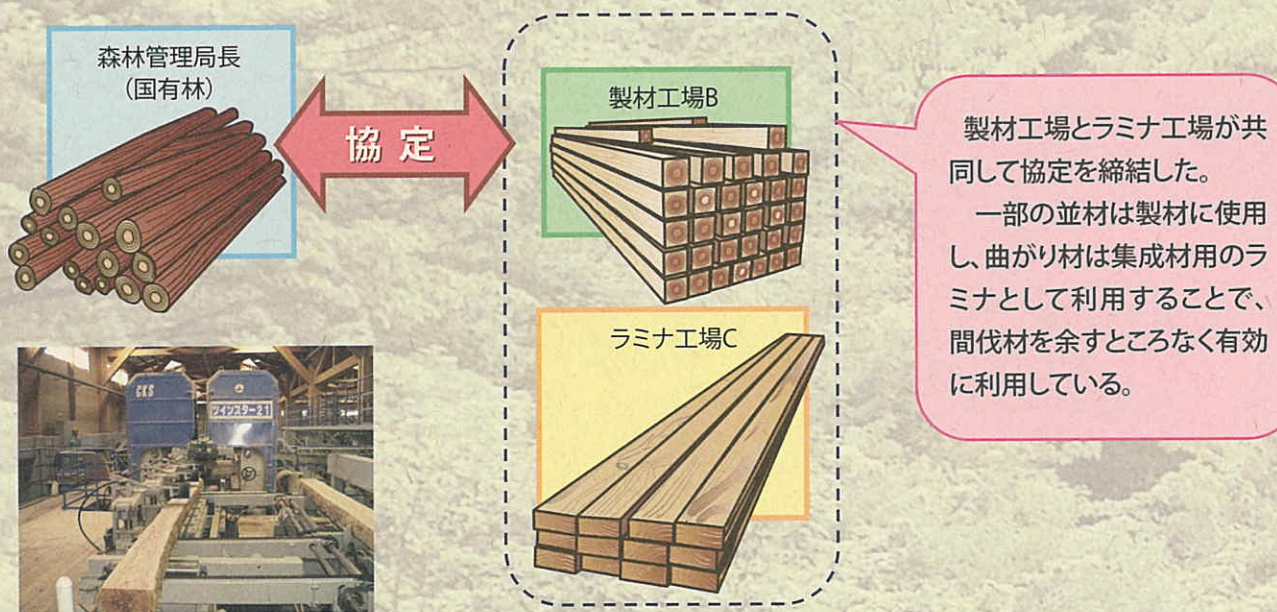
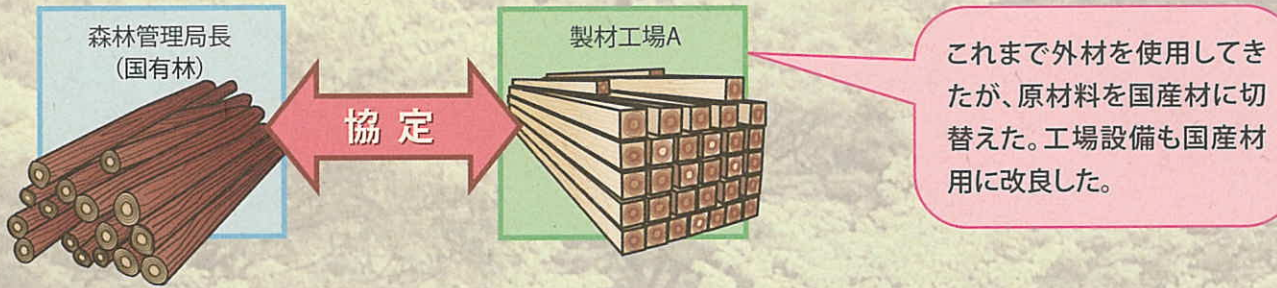
各森林管理局では、以下の例で示す事項等を考慮して審査を行っています。

- 加工・流通の合理化に取り組むものか。
- 外材の代替として国産材の利用を増やそうとするものか。
- 細い径級の丸太や曲がりのある丸太などを幅広く受け入れるものか。
- 新製品の開発など新しい需要の開発に取り組んでいるものか。



システム販売の協定例

ここでは、システム販売の協定例を、需要者における取組を含めてご紹介します。



お問い合わせ

○システム販売の申請書の様式、契約手続等の詳しい内容につきましては、こちらまでお問い合わせください。

北海道森林管理局 販売第一課 011-622-5247
販売第二課 011-622-5248
<http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/>

東北森林管理局 販売課 018-836-2130
<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/>

関東森林管理局 販売課 027-210-1186
<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/>

中部森林管理局 販売課 026-236-2681
<http://www.rinya.maff.go.jp/chubu/>

近畿中国森林管理局 販売課 06-6881-3505
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

四国森林管理局 販売課 0888-21-2170
<http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>

九州森林管理局 販売課 096-328-3651
<http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/>



林野庁 業務課
東京都千代田区霞が関1-2-1

TEL:03-3593-1675
http://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/



リサイクル適性 A

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。